

令和5年度共同募金運動における共通助成テーマ
実施要項

令和5年7月20日
社会福祉法人 中央共同募金会

1 令和5年度共同募金運動における共通助成テーマ

「つながりをたやさない社会づくり

～あなたは一人じゃない～」

2 テーマの趣旨

- ・新型コロナウイルス感染症をめぐる社会の流れは、ポストコロナ状況といえるものに変わりつつあります。
- ・ワクチン接種や感染対策の普及にともない、様々な社会活動が、以前のような対面・参集方式に徐々に戻っていく動きが広がってきています。
- ・住民の福祉活動においても、感染防止の観点から一時期は開催が難しかったいきサロンやこども食堂などの、人と人とが実際に出会い「つながる」活動が再開し始めています。
- ・しかし、活動の担い手不足から、再開したくても難しいという悩みを抱える地域も出てきています。
- ・また一方で、新型感染症の影響や少子高齢化、人口減少などを要因として、孤独・孤立の状態に置かれている人々、生活に困窮する人々への支援が強く求められています。
- ・「地域共生社会」が目的とする、地域における重層的なセーフティネットの確保のために、住民はじめ多様な主体の参画による、地域活動の促進が欠かせません。
- ・共同募金には、このようなポストコロナの状況を見据え、引き続き人と人とのつながりを大切にした支援活動を応援し続けることが求められています。
- ・共同募金が、地域において、あらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら生活していくことのできる地域コミュニティづくりのための資金として、よりいっそう活用されるものとなるために、令和5年度においても「つながりをたやさない社会づくり」を共通助成テーマとすることといたします。

3 実施年度

令和5年度共同募金運動（令和5、6年度「共同募金（一般募金）」、「地域歳末たすけあい」、「NHK 歳末たすけあい」助成事業）において実施

4 実施団体

都道府県共同募金会、市区町村共同募金委員会、中央共同募金会

5 協力団体

都道府県・指定都市社会福祉協議会、市区町村社会福祉協議会、全国社会福祉協議会

※各地域での社会的孤立の課題解決に取り組む NPO、ボランティア団体、NPO 支援センター、各地域の行政機関、専門機関等も協力団体として想定されます。

6 助成事業のイメージ

「ポストコロナ」の状況下における以下のような活動を広く想定しています。

1) 経済的困窮者の増加や社会的孤立の固定化に対して取り組む活動

2) 社協や団体が、活動を通じて把握した困窮、孤立の課題に対して新たに取り組む活動

3) 地域に所在する社会資源が連携して行う活動

社協、社会福祉施設、フードバンク等支援団体、学校や商工会等地域に存在する社会資源が協働して行うことにより、活動と対象者の広がりをはかる活動（活動のプラットフォーム化）等

4) 地域活動への参加者を増やす、担い手づくりの活動

新型ウイルス感染症下における活動と担い手の減少に対する活動

住民の町への思いを、地域活動への参画につなぐような活動

ポストコロナ社会における活動の場と活動の担い手を増やす活動

5) 実施環境に配慮しながら支援する活動

衛生環境への配慮、通信環境の整備、自宅や屋外での実施など、実施環境に配慮しながら行う支援活動や感染対策に伴う経費等

※助成は「未来の豊かなつながりアクション(<https://tunagari-action.jp/>)」における活動とも共通性があると考えていますのでご参照ください。

7 助成対象となる団体の例

社会福祉協議会、民生・児童委員協議会、NPO・ボランティア団体、自治会・町内会等の地縁組織、その他助成テーマの趣旨に沿った活動を実施する団体など

8 テーマ推進にあたっての留意点

テーマの推進にあたっては、下記（１）～（３）により、社会福祉協議会を始めとした関係機関との協働の場づくりを行いながら、各地域における課題や活動の実態

を踏まえた具体的な助成内容と計画、運動展開等の企画について十分に検討してください。

(1) 各地域におけるテーマ推進のためのプラットフォーム（協働の場）づくり

①テーマ推進のためのプラットフォーム（協働の場）づくり

中央共同募金会企画・推進委員会答申「参加と協働による『新たなたすけあい』の創造～共同募金における運動性の再生～」をふまえ、共同募金会は、社会福祉協議会やその他の専門機関、NPO など多様な機関・団体とともに、地域の人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合う「地域共生社会」の実現につながるようなプラットフォームづくりを進め、当該地域でのテーマによる助成事業の内容、キャンペーン展開、募金活動の方法に関する企画を進めます。

②社会福祉協議会との連携強化

「つながりをたやさない社会づくり」は共同募金における全国共通助成テーマ「地域から孤立をなくそう～みんなが社会の一員として包み支え合うしくみづくり～」を包含したものという考え方です。については本助成テーマが一過性のキャンペーンに終わることなく、社会的孤立の解消・予防へ直結した運動として展開していくために、全国社会福祉協議会による「社協・生活支援活動強化方針」に基づき、共同募金会と社会福祉協議会との連携の強化を図ります。

(2) テーマ助成の計画と募金運動

全国共通助成テーマによる助成の計画及び募金運動については、次の2つの方法のいずれかにより都道府県共同募金会が計画・実施します。

① 共通テーマ助成枠を設置しての実施

共同募金による助成計画の中に共通テーマ助成枠を設定し、テーマを強調する形で共同募金運動を展開します。

② テーマ型募金としての実施

共同募金におけるテーマ型募金として計画及び募金目標を策定し、共同募金運動の拡大期間を活用して実施します。

(3) 共通助成テーマの積極的な広報・啓発と募金運動

①テーマの積極的な広報・啓発

テーマの推進にあたっては、活動への助成の実施に留まらず、各地域における社会的孤立の状況について地域に広く発信することを通じて、地域住民の理解を促進し、課題解決のための活動や募金活動への参画を進めます。

③ 関係機関と協働した募金運動展開

実際の募金運動を行う際は、社会福祉協議会、その他の専門機関、NPO、テーマによる助成を受ける団体などと協働し、テーマ助成と連動した募金運動と広報活動を広く展開します。